

令和3年度 地域部事業報告

- 障害者スポーツボランティア情報配信システム「TOKYO 障スポ&サポート」の推進
システム登録者向け「障害者スポーツボランティア研修会」へ協力、また部員個々の活動先においてシステムの周知を図った。
- 地域活動活性化事業
地域の指導者同士をつなぐ場を設けることが難しく、実施できませんでした。

令和3年度 広報部活動報告

➤ たよりの発送

- ・例年どおり冊子を作製し発送(4月)
- ・コロナ禍の為役員、理事の思いを冊子にしました。

発行部数 3200部

発送先 東京都に活動拠点を置いている全会員

➤ ホームページ(HP)を利用したの情報提供、

コロナ禍のため研修会、講習会等が開催されず会員の皆さんへ提供発信が出来ませんでした。

令和3年度 研修部事業報告

今年度はコロナ禍のため、オンラインでの会議を行い共催事業の内容、協力体制などを検討し研修を実施しました。また例年実施している総会時の研修、指導者協議会での独自研修については感染予防の観点から実施出来ませんでした。

● 東京都、東京都障害者スポーツ協会との共催事業について

1. 令和3年度リスタート研修(参集型で2回開催)

1回目 令和3年11月27日(土) 場所 くにたち市総合スポーツセンター

参加者 17名 指導者協議会 4名

2回目 令和3年12月18日(土) 場所 新宿区立四谷スポーツセンター

参加者 29名 指導者協議会 4名

内容:(1,2回目ほぼ同じ内容での実施)障害者スポーツの基本的な知識を座学で実施、学びなおしを行いました。また、先輩指導者からのアドバイスやアイデアを学ぶとともにグループワークを行って指導者間の交流、情報交換と情報の共有を図りました。

2. TOKYO&サポート ボランティア講習会

令和4年1月8日(土) 中央区立総合スポーツセンター(参集型での開催)

参加者 27名

内容:JSVN 只野さんの講義「スポーツボランティアとは？」

佐藤課長の講義 視覚、知的、車いす、精神など各障害についての概要

実技 シッティングバレー、ローリングバレー

3. 障害者スポーツフォーラム

令和4年2月26日(土) オンラインでの開催

シンポジウムと分科会 分科会については選択して視聴できるよう設定

参加者 名

4. 総合スポーツセンター、多摩スポーツセンターとの共催事業、フォローアップ研修

1) 多摩スポーツセンターフォローアップ研修

1回目 令和3年12月25日(土)グループワークと施設の見学

2回目 令和4年2月19日(土)競技用の車いすについて(オンラインでの実技)

2) 総合スポーツセンターフォローアップ研修

1回目 令和4年1月23日(日)知的障害、発達障害者のスポーツ指導について

講師 森山徹氏 むさしの発達相談センター

2回目 令和4年3月4日(金)パラアーチェリー選手、コーチによる対談

総合スポーツセンター利用者 大山選手、牧野コーチ

令和4年度 地域部事業計画(案)

- 障害者スポーツボランティア情報配信システム「TOKYO 障スポ&サポート」の推進
受け入れ先及び指導者への周知を図り、指導者の地域での活動の場の確保を図る。
- 地域活動活性化事業
地域で障害者がスポーツを楽しみ、その活動を地域の指導者が担っていけるような場づくりの検討。
- 当会「地域活動支援事業」の推進
会員組織の市区町村単位での活動に対し、活動費や広報などの支援をおこない、地域での障がい者スポーツの普及啓発を図る。
- 協会、両センターの地域振興事業への協力

令和4年度 広報部活動事業計画(案)

➤ たよりの発送

・冊子での発行。

・1年間の指導員協議会の活動を報告する。

・理事会議事録報告

1. 発行 年1回

2. 内容 連載、シリーズもの等を検討

3. 発行予定部数 約3200部

4. 発行先 東京都に活動拠点を置いている全会員

令和4年度 研修部事業計画(案)

1. 研修の目的

東京都、東京都障害者スポーツ協会、総合スポーツセンター、多摩スポーツセンターや地域のスポーツ推進委員、関係者と連携しながら「共催事業」や「指導者協議会の独自研修」を企画開催し、指導方法や障害者スポーツについての理解向上の機会を提供することによって会員相互の交流を図り、会員のレベルアップを図ることを目的とする。

2. 研修の内容

- 障害別の指導方法を学ぶ。
- 障害当事者、指導者相互の交流を図り、スポーツ体験の共有を行う。
- 障害特性についての専門的な学習を行う。
- 障害者スポーツの実技、理論、ルールやマナーを学ぶ。

3. 令和4年度の研修予定

東京都、東京都障害者スポーツ協会との共催事業

- ① 総合スポーツセンター、多摩スポーツセンターでのフォローアップ研修
- ② 指導者リスタート研修
- ③障害者スポーツフォーラム
- ④指導者協議会主催の独自研修(総会時含め年2回予定)

4. 研修の実施方法

○コロナ禍の状況を見ながら「参集での実施」「オンライン研修」「ハイブリッド研修」などの方法を検討する。

5. 周知の方法

○情報提供システム S&S 指導者協議会のホームページを活用して周知する。

6. 研修後のとりくみ。

○アンケートを行い、実施方法や内容に反映する。